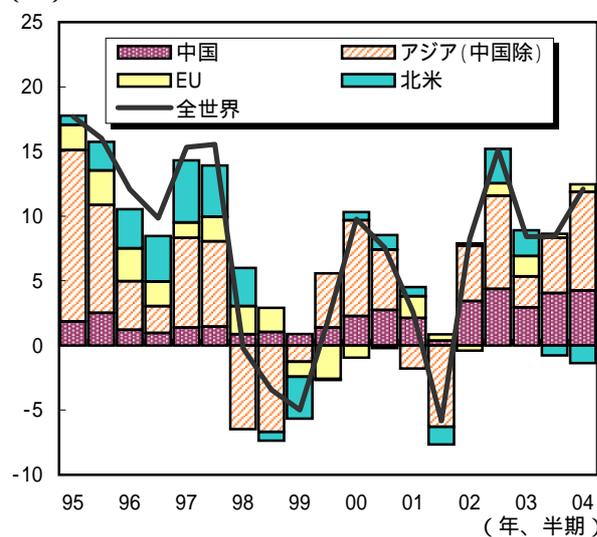




増加を続ける化学の中間原料輸出

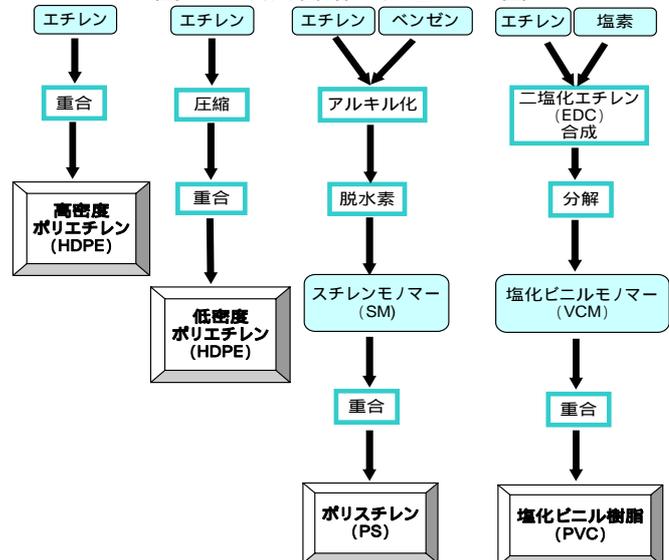
- ・わが国の化学製品輸出は増加を続けている。地域別にみると、北米や欧州向けの寄与度が低下し、アジア、中でも中国向け輸出の重要性が一段と高まっている。
- ・エチレン誘導品の輸出動向をみると、川下の汎用樹脂が減少する一方、モノマー類などの中間原料の大幅な上昇が目立つ。背景としては、中国などで汎用樹脂プラントが数多く新增設されていることをうけて、わが国化学プラントの一部がモノマー輸出型を志向していることなどが挙げられる。
- ・だが、足元では原料価格急騰という懸念材料が出てきた。特に米国需給構造変化などをうけベンゼン価格が急騰しており、世界的にみても品薄感があることから他原料と比べても価格上昇カーブは急激になっている。こうした原料面のコスト上昇をうけて中間原料であるスチレンモノマー価格も急上昇しているが、ベンゼンとの値幅は縮小傾向にある。このままベンゼンの需給逼迫が続き、価格が高止まりすれば、好調なわが国化学製品輸出に影響を与える可能性もある。
- ・ベンゼンの供給ソースには、エチレンセンターのナフサ分解、製油所の改質油からの抽出などのルートがある。エチレンセンターでのベンゼンの位置づけはエチレンの副産物であることから、急激な増産は見込み難い。今後は石油精製メーカーによるベンゼン増産に向けた動きが鍵を握るといえる。

図表1 化学製品輸出(前年比寄与度)



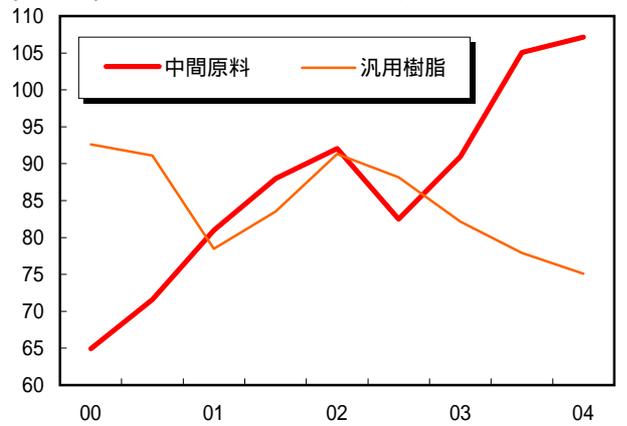
(備考) 日本関税協会「外国貿易概況」により作成。

図表2 汎用樹脂の製造フロー図



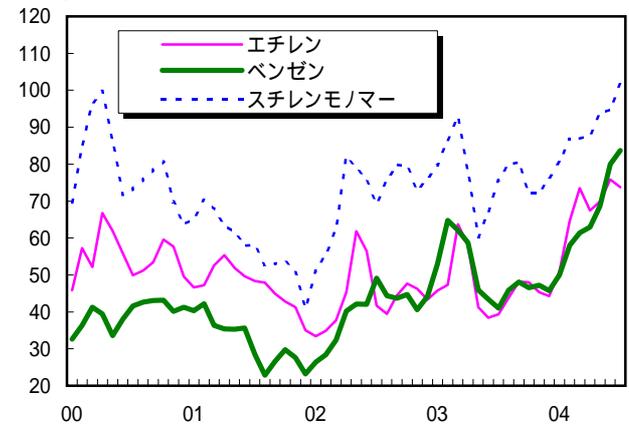
(備考) 石油化学工業協会資料により作成。

図表3 エチレン誘導品の輸出



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。
2. 中間原料はSM、VCMの合計値。
3. 汎用樹脂はLDPE、HDPE、PS、FS、ABS、PVCの合計値。

図表4 輸出価格



(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。
2. 輸出価格 = 輸出金額 / 輸出数量にて算出。

[調査部(産業調査担当) 埴 賢治]